

マレーシア理科大学(USM)留学案内

久志本裕子*

1. 留学コース案内

正課以外の留学生として USM に在籍する方法は 2 つある。

まず、学部または修士課程に留学するうえで便利な“Study Abroad Scheme”がある。期間は 1 学期もしくは 1 年。授業料は 1 学期につき 3000 リンギで、このほかに医療費、図書館のデポジットなど 2240 リンギかかる(うち 2100 リンギは帰国時返金)。詳しくは http://www.usm.my/hea/iro_in2.htm を参照。

留学生の大半がヨーロッパの協定校の学生であるため、彼らのために「東南アジア論」などの一群の授業が英語で行われる。マレーシア人学生向けの授業も履修できるが、人文社会科学系のほとんどの授業はマレー語で行われる。“Independent Study”というコースでは、希望の指導教官を選び、個人指導を受けることができる。

もう 1 つは、授業を履修せず学籍だけ取得し、図書館など学内施設の利用が可能となる制度である。この制度の登録料は 500 リンギである。指導教官を依頼できるかは相談次第とのことで、International Office 長の Norpisa 女史 (interel@notes.usm.my または norpisah@notes.usm.my) に個別に問い合わせる必要がある。

非マレー語話者のためのマレー語の講座も毎期開講されている。授業はレベル 1～4 に分か

れ、1 は入門者対象、2 は 1、2 年学習済みの留学生対象、3 は主にインドネシア人留学生向け、4 はマレーシア人の必修科目となっており、レベル間の開きが大きい。

このほかの留学情報に関する詳細は、Academic Affairs Division のウェブサイト http://www.usm.my/hea/index_english.html を参照されたい。

2. 図書館の利用方法

USM には主要な図書館が 2 箇所あり、蔵書をオンラインで検索できる (<http://krisalis.usm.my:8080/elmu-equip/index.jsp>)。所蔵場所に“PHS1”と表示されるものはキャンパス中央の第 1 図書館に、“PHS2”は正門裏の第 2 図書館にある。コード末に“m”とあるものはマレー語図書のみコーナー(第 1 図書館 1 階など)にある。

“Koleksi Khas”(特別コレクション)は第 1、“Malaysiana”(マレーシア関係図書)は第 2 のそれぞれ 2 階にある特別エリアに所蔵され、共に貸し出し不可である。Koleksi Khas の半分と Malaysiana は、館内でのコピーも不可である。

USM のドレスコードは最近緩和されたようであるが、比較的厳しい。短パンやミニスカート、ノー Sleeves はもちろん、図書館に入館する際はジーンズやサンダルは避け、襟付きのシャツと靴を着用するのが望ましい。

3. 寮・住居・短期宿泊施設関連

大学構内の寮のうち国内学生用の寮は 2~3 人 1 部屋で、大学院生には 2 人部屋(1 泊 2.2 リンギ)が優先的に割り当てられる。留学生用の寮として新築の International House(1 人部屋、トイレ・シャワーは 2 人で共用)があるが、部屋代は月 300 リンギと高額である。校外に住む場合、家賃の平均は 3LDK が約 1000~1500 リンギで、ハウスシェアをする場合 1 部屋月 350 リンギである。大学構内にはハウスシェア情報が常に掲示されている。

短期滞在の場合、大学構内のゲストハウスが利用できる。宿泊費は 1 泊 75~130 リンギである。詳しくは <http://www.usm.my/usm/facilities/guest/Index.html> を参照。ただし基本的に大学関係者を対象とするので、利用については manager@guesthouse.usm.my に相談する必要がある。ゲストハウスはキャンパスの外れにあり、車がないと利用しにくいなどの難点もある。

多少予算に余裕がある場合、USM と空港の中間に位置する Bukit Jambul の Vistana Hotel(<http://www.penang-hotels.com/vistana/>)がお勧めだ。2LDK が 1 泊 160 リンギ、月 1000 リンギから利用できる。USM とはミニバスで行き来でき、すぐ裏にショッピングセンターもあり、便利である。Norpisah 女史を通じて手配すると、若干割引がきく。

USM での生活情報は、大学院センターホー

ムページ(<http://www.ips.usm.my/>)に詳しい。

4. USM への交通機関

島外からペナン島への長距離バスはコムタ(KOMTAR)に到着するが、どのバスも USM の裏門の前 Gulugor(グルゴ)を通る。チケット購入時および上車時に「グルゴで乗車/降車」と言っておけばよい。クアラルンプールなど主要都市へは、正門前からもバスが出る。

ペナン島内のバスも全てコムタを起点・終着点とする。USM へはミニバス 25 番と 28 番で行くことができる。タクシーはメーターがなく、クアラルンプールに比べてすこぶる高い。料金の目安は、渋滞なく 1 分 30 秒走ることにより 1 リンギで、USM からジョージタウンまで 15 リンギ前後、ジョージタウンの北に位置するガーニードライブ(Gurney Drive)まで 20 リンギ前後である。

5. USM 外での情報収集

Farquhar 通りにある州立博物館は、通りの向かいの事務所にいくらかの蔵書を持っている。州立図書館はジョージタウンとバタワースにあるが、非常に小さい。コムタには国立文書館のペナン州分館がある。

ペナンには大型書店はなく、学術書は USM 内の書店が最も充実している。比較的大規模な書店には、コムタ・ショッピングセンター 2 階とその隣のプランギン・モール 5 階にある Popular Book Store と、ガーニードライブの Gurney Plaza 内にある MPH などがある。

* 東京外国語大学大学院